



カバーストーリー

厳島神社（広島県）

厳島神社は、三女神と呼ばれる市杵島姫命、田心姫命、湍津姫命を祀っており、「神を齋き祀る島＝厳島」として島全体が神の島として崇められていたため、陸地ではなく潮の満ち引きするところに社殿が建てられたそうです。

鳥居は固定されておらず、足を支えるために前後に支えがある両部鳥居という形です。松島・天橋立と並び日本三景「安芸の宮島」として知られ、1996年にはユネスコの世界文化遺産に登録されています。

サケ

サケは自分の生まれ故郷の川独特の“匂い”を産卵の段階まで覚えており、4年ほど海で過ごした後、この記憶に従って母川に産卵帰ります。

日本人が親しんでいるいわゆる「サケ」は、学術的には11属66種からなるサケ科魚類のことで、11属のうち、3属（イトウ属、イワナ属、サケ属）が在来種として日本に生息し、サケ属は8種類ありますが、日本で獲れる天然のサケはサクラマス、カラフトマス、マスノスケ、ベニザケ、シロザケの5種類です。

9～11月に川に上るために東北・北海道沿岸によってくるサケを「秋鮭」「秋味」と呼び、サンマと並ぶ秋を代表する魚です。

TOPICS

◆今月号から「建設従事者の高齢化」にスポットをあてた「労働者の健康管理」と題するコーナーを設け、中央労働災害防止協会の林健康快適推進部長様からご寄稿いただきました。全産業のなかでも高齢化が著しい建設業ですので、ご一読いただき、安全衛生管理の参考にしていただければと思います。

◆酸素欠乏症等の労働災害発生状況（厚生労働省公表資料）を見ますと、過去20年間で、製造業（56人）が最も多く、次いで建設業（26人）となっており、この2業種で全体の6割以上を占めています。発生月としては、7月、10月でそれぞれ15件と最も多くなっています。今月の「送検事例から学ぶ安全」では、酸素欠乏危険作業での送検事例についてご寄稿いただきましたのでご確認ください。

目次

	○労働者の健康管理 第1回 2 数字で読む高齢労働者の実態 中央労働災害防止協会 健康快適推進部長 林 かおり
	○元監督官が解説!「送検事例から学ぶ安全」No 5 5 酸欠により作業員と現場代理人の2名が死亡。会社と代表取締役のほか、死亡した現場代理人も酸欠災害防止のための必要な措置を講じていなかったとして送検。 特定社会保険労務士 森井 博子
	○わが社の安全 6 ①低層住宅における現場災害防止への取り組み 6 ミドリ安全(株) セフティ&ヘルス統括部 次長 栗岡 伸明 西大阪支店 支店長 村田 拓朗 ②人と機械の混在作業を防ぐための改善事例 11 ～死亡災害に直結する重機災害の撲滅～ 鹿島建設(株) 東北支店 成瀬ダム堤体打設JV 工事事務所 工事第2グループ長 上本 勝広
	○季節の食 15 ～秋の食材～ (一社)日本健美操協会 顧問 鈴木 照子
	○建災防協進会 安全衛生保護具・機器コーナー 18 転倒災害防止① 安全靴 ミドリ安全(株) フットウェア生産部 品質保証Gr 次長 桑 孝臣
	○建設工事の安全衛生講座 20 建設工事従事者の「安心」「安全」「快適」のために 建設現場でメンタルヘルス対策に取り組んでみましょう! 建設業労働災害防止協会 技術管理部
	○建災防の活動 24 第164回常任理事会を開催
	○COHSMS認定 25 (株)SEIWA、戸田ビルパートナーズ(株)が新規認定、 五洋建設(株)、西松建設(株)、ライフライン長野(株)、辻谷建設(株)が更新認定!! 建設業労働安全衛生マネジメントシステムセンター
	○災害事例に学ぶ 30 清掃作業中に改質材ミキサに巻き込まれる
	○災害統計 32

建災防からのお知らせ

- ◆令和6年度 建設業の安全衛生に係る発明・研究等の作品を募集!! 17
- ◆足場関係の出版物等のご案内/建設業労働安全衛生マネジメントシステム 31